

はたらく看護師のための 自分の育て方

キャリア選択に活かす気づきのワーク17

川崎つま子・高田朝子＝著
定価2200円(本体2000円+税)
医学書院 ☎03-3817-5600

はたらく 看護師のための 自分の育て方

川崎つま子 高田朝子

仕事は覚えた、
後輩は、
水は私に、
さでとらるる？
「ケアリング」という言葉が紹介されてい
た。対象者との関係性、対象者の尊厳を守り
大切にしようとする倫理的態度、気遣いや配
慮が具体的な援助行動として示され、それが
対象者に作用する。そしてケアする人とされ

「ケアリング」という言葉が紹介されてい
た。対象者との関係性、対象者の尊厳を守り
大切にしようとする倫理的態度、気遣いや配
慮が具体的な援助行動として示され、それが
対象者に作用する。そしてケアする人とされ

援する。
患者のバイタルを追い、指示通り医療処置を
するのではない。暮らしの中で、その人が「患
者」ではなく、1人の家族、1人の地域住民
として最後まで生き切れるように、その人に
とっての最善の選択をとともに考え、そっと支
援する。

僕らが関わる在宅医療は、も
とも看護との親和性が高い。
というよりも、在宅医療のコン
セプトは看護のコンセプトとか
なり重複する。ICUベッドで

きた立場で考えさせられること
が多かった。

そのキャリアアップに伴走して

在宅医療と看護師、重なるコンセプト
ひさしぶりにアンダーラインをたくさん引
きながら読んだ。看護師としてどんな働き方
II生き方を選択するのか。医療機関経営者とし
て、多くの看護師を採用し、

自分が望む生き方をイメージできる

医療法人社団悠翔会理事長・診療部長 佐々木淳

る人、双方の人間的な成長をもたらす。まさ
に在宅医療における医療者と患者との関わり
のプロセスそのものだ。ケアリングのサイク
ルの中でともに仕事をする医師としてどうあ
るべきなのか、あらためて考えさせられた。

急速に変化する時代で

どんなキャリアを描くか

同じ医療者として、医師と看護師、キャリ
アの悩みも重複する。少子高齢化と疾病構造
の変化に伴い求められる役割の変化は医師と
同じ。DXや働き方改革などベテランが直面
する社会環境の変化も医師と同じ。さまざま
なものが急速に変化していく時代において、
ジェネラリストの道を究めるのか、スペシャ
リストの道を進むのか、そしてその先にある
マネジメントのプロを目指すのか。

在宅医療における看護は、その人の生きる
ことの全体をケアできるジェネラリストであ
るとともに、在宅というフィールドで求めら
れるスペシャリストとしての実践能力を持
ち、そしてときにチームをマネジメントする
力も求められる。ジェネラリストも一つのス
ペシャリティという議論もあるが(ここでは

詳細は割愛したい)、在宅医療はそのすべて
の要素を包含する、医療職にとって最適な
キャリアを模索するための最適な領域でもあ
るのかもしれない。

これまでの豊富な経験を生かしながら日々
のケアに関わるとともに、新しい考え方で再
整理していく。本書を読み進めていくと、こ
れから先も輝き続けるために、自分が望んで
いる生き方はどんなものか、社会の中で活躍
し続けるために新たに獲得すべきものは何
か。具体的にイメージできる。

社会からフェードアウトするのではなく、
これまで獲得してきた強みを基軸に成長を続
けていく。よりよい人生の選択を重ねていく。
女性の社会進出のトップランナーである看護
職が、人生100年時代、定年に囚われない
働き方で年齢に関係なく自己実現していく。
そんな超高齢社会を豊かに生きることが実現
するロールモデルとしても輝き続けてほしい。
当法人にも少しずつプラチナナースが生ま
れつつある。彼女たちが力を発揮できる、成
長を続けられる環境を作っていきたい。そし
て僕も負けずに頑張りたい(ちよっと心もと
ない生え際君にも、もう少し頑張っしてほしい)。